

町内会事務所は  
祝日を除いて  
月曜日～金曜日  
10時から16時まで  
開いています

# 町内会だより

10  
月号

玉川学園町内会

町田市玉川学園 2-19-5

Tel/Fax : 042-725-0438

E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

http://tamagawagakuen-chonikai.net

## 敬老會

が開催されました - 高齢者部 -

(看板・タイトル 岸川さん)

招待者139名、来賓13名の方々の参加をいただき  
盛会の裡に無事終了致しました。



9月19日(月)「敬老の日」に町田第五小学校体育館で開催されました。心配していた台風の影響もなく穏やかな天候にも恵まれ招待者 139名、来賓13名の方々の参加をいただき盛会の裡に無事終了致しました。

来賓を代表しての町五小樋口校長先生のご挨拶、児童代表によるお祝い  
のことばと続き、高齢者クラブ西壽会とうきょうきクラブから町五小児童へ  
手縫いの雑巾200枚+αが贈られた時には大きな拍手が起こりました。  
松香町内会長挨拶来賓紹介のあと徳力町内会副会長の首頭で乾杯。食事、  
懇談のあとアトラクションに入り、恒例のプラスバンドクラブの力強い演  
奏、そして、今回が初めての参加となる佐藤静江先生率いるフラ・ハラウ  
レイナニアロハの踊りを楽しみました。

開催に当たっては、毎年のことながらボーイスカウト町田第13団の皆  
さんや町五小の先生方と児童の皆さん、ご父母の皆様にも多大なご協力を  
いただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 総合防災訓練を実施

- 防犯防災部 -

起震車と煙体験、備蓄資機材展示見学、消火と通報訓練、  
応急救護訓練、避難施設運営に関する講義と家庭内備蓄品等  
展示見学を行いました。



9月25日(日)午前9時より、町田第五小学校において玉川学園地区  
合同総合防災訓練が開催されました。

各地区、第一住宅、興人、桜ヶ丘の各自治会および運営をご支援いただ  
いた皆さん総勢で422名の方々が参加されました。ご支援いただきました、  
消防署、消防団第一分団第五部、市役所、玉川大学学生防災ボランティア隊、  
玉川学園・玉林台両駐在所、町田第五小学校の皆様にも厚く御礼申し上げます。

訓練等は、起震車と煙体験、備蓄資機材展示見学、消火と通報訓練、応急  
救護訓練、避難施設運営に関する講義と家庭内備蓄品等展示見学を行いま  
した。特に火を使用した消火器の訓練と、家庭内備蓄品等展示・避難施設運  
営に関する講義に熱心に取り組み、見入り、耳を傾ける姿が見られました。



今年は、車椅子も展示、何人かのお子さんが使用方法を学びました。  
車椅子を利用する人々(避難行動要支援者)に対する理解を深める場とな  
ったことでしょう。各訓練後、全員によるバケツリレーに続き、消防団に  
よる救出訓練と放水訓練に対して、大きな拍手が送られ、消防署からご講  
評をいただき無事終了しました。

9月4日(日)に南大谷小学校で、9月18日(日)に成瀬台小学校でも  
防災訓練が行われ、それぞれ8地区から68名(総参加者数 556名)、6  
地区から93名(総参加者数 538名)が参加しました。皆様、お疲れ様  
でした。今後の家庭、近所、地区での災害時等の準備・体制作り役に役立  
ててください。

## 青少年部 今後の行事予定

- 青少年部 -

年末年始の行事を企画しております。

決定次第詳細をお知らせ致しますので、ふるってご参加ください。

**クリスマス  
こどもの集い**

12月17日(土)  
さくらんぼホール

**2017年  
新春餅つき体験会**

1月14日(土)  
コミュニティー  
センター

## 10月定例幹事会(10月4日)

- 総務部 -

1. 秋の親睦日帰りバス旅行について
2. 「秋の子どもまつり」への協賛金の交付について
3. 幹事研修バス旅行について
4. 第7地区活性化予算の使用について

## 資源回収の報告

- 環境部 -



9月の重量は  
**109.8 トン**

資源ごみは  
当日朝の9時までに出示してください  
古紙・ダンボールは必ず紙紐で括ってください

お問い合わせは町内会事務所 または  
大興資源 045-929-4813 まで  
**資源物の不正な抜き取りを目撃した時は**

日時、場所、回収車の車両番号などを  
町内会までお知らせください

町田市防災安全課の  
方と玉川学園の駐在員  
の方をお迎えして、  
DVD 上映、防犯に関す  
る話、質疑応答のほか、  
希望者のみで周辺のパト  
ロールを行います。ぜひご  
参加ください。  
(予約は不要です)

**防犯勉強会のお知らせ**

11月15日(火)  
18:30~20:00  
- さくらんぼホール -

広報部より【前月号掲載内容の訂正】  
9月号掲載致しました、玉川学園駐在所の所在地番地に  
誤りがありました。(正しくは…6-1-110)





## 東日本大震災以降大切にされた3つの考え方 更に地域の災害対応力を高めていきましょう

水に恵まれ四季豊かな我が国は、火山国であり、地震国でもあり、台風などの風水害が多い国土です。古来、我が国は災害にある時は立ち向かい、ある時は受け流し、ある時は避け、ある時は受け入れてきました。

そうした災害に対し自分の身を守る為に防災訓練は 欠かせません。今回の防災訓練で我々消防団は独自で町田市当局に掛け合い、2リットルの保水水を総量1トン、自家用車で確保し配布させて頂きました。



訓練を終え、詰め所で片付けと次の災害への出場体制を整えていると、ご年配のご婦人が通りかかり、微笑みながら『有り難いんだか、重たいんだか、』とお声かけ頂きました。私共は咄嗟に『良かった!』と思いました。

実際の災害時に水道が止まった場合、給水拠点まで水を取りに行かなければなりません。しんどいかとは思いますが、災害時の疑似体験をして頂いた事は訓練の意義に通じるものがあるからです。防災訓練を知識として理解するのではなく、行動として理解していく事が何よりも大切なのです。災害対応は知恵と行動の質が結果を左右します。

東日本大震災以降、

①想定にとられない ②率先避難者になる ③最善を尽くす

という3つの考え方が大切にされてきました。

先人の知恵と新たな試み、反復訓練による技量の向上により、更に地域の災害対応力を高めていきましょう。

部長 渡辺 巖太郎



文・画 村山尚子

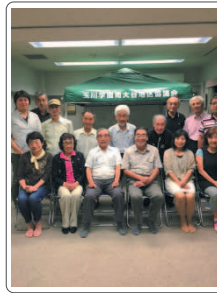
あすき分け...  
呼び、来年も豊作であるようにと願いをかけるのです。また、それには鳥たちにおすそ分けする意味も含まれているといわれています。  
この季節、お散歩をしていると、実のなっている柿の木をよく目にします。しかし柿は背の高くなる木なので、下のほうは実がきれいに収穫されても、上のほうには、手もはさみも届かなかったのか、ひとつどころかたくさん木守柿が残されていたりします。  
とろとろに熟したそれらの実を鳥たちがうれしそうについばんでいるのを、私はただ指をくわえて見上げるばかりなのです。



どんな柿も、実の中にある種ができて、あがる。と甘く熟してきます。鳥たちには実を食べてもらい、種を遠くへ運んでもらおうという考えのようです。  
日本には古くから、柿の実を収穫する際に、そのうちのひとつを枝に残す風習があります。その実を「木守柿（こもりがき）」と呼び、来年も豊作であるようにと願いをかけるのです。また、それには鳥たちにおすそ分けする意味も含まれているといわれています。  
この季節、お散歩をしていると、実のなっている柿の木をよく目にします。しかし柿は背の高くなる木なので、下のほうは実がきれいに収穫されても、上のほうには、手もはさみも届かなかったのか、ひとつどころかたくさん木守柿が残されていたりします。  
とろとろに熟したそれらの実を鳥たちがうれしそうについばんでいるのを、私はただ指をくわえて見上げるばかりなのです。

## 2016年度の「地区協議会」が始動しました!

- 玉川学園・南大谷地区協議会 -



### 7つの事業が次のように本格的に始まりました。

玉川学園町内会の各位が主導して昨年発足した「玉川学園・南大谷地区協議会」の理事会が9月23日玉川学園コミュニティセンターで開催されました。町田市からの補助金が交付され、2016年度の7つの事業が次のように本格的に始まりました。

- (1) 防犯カメラの設置、安心な街づくり事業 担当者 服部さん
- (2) 「玉ちゃんサービス」高齢者に便利な街づくり事業 担当者 井上さん
- (3) 「玉南町カフェ」地域活性交流活性化事業 担当者 清瀬さん
- (4) 認知症の人にやさしい街づくり事業 担当者 松原さん
- (5) こどもが元気に遊べる広場づくり事業 担当者 大山さん
- (6) 「夏祭り支援」元気で楽しい街づくり事業 担当者 前野さん
- (7) 広報活動事業 担当者 船生さん

皆様のご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

記 副会長 前野 紀夫

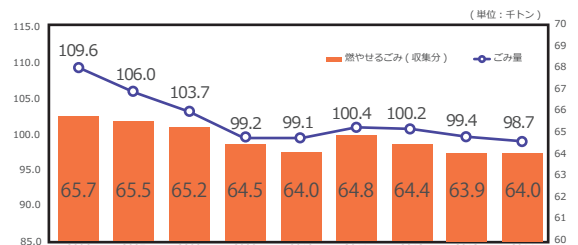
## ごみの減量作戦

- 環境部 -

町田市は2020年 2009年比廃棄物総排出量40%減を目標に廃棄物減量作戦に取り組みます。その目玉としてプラスチックの資源化を目指し資源化施設の建設が決定されています。一方各家庭でできる減量作戦として「生ごみの減量」が上記目標を達成するための重要な要素となります。

環境部は市役所3R推進課が作成した資料を基に皆さんと勉強し楽しく家庭生ごみの減量に取り組みたいと連載記事を掲載させてもらいます。

### 第1回 町田市「ごみ量の推移」



燃やせるごみの量は2006年～2014年の9年間で約6万6千トン～6万4千トンとほとんど減っておりません。近年ではごみ全体と燃やせるごみの比率は、おおよそ65%となっております。

(次号に続く)